



にじいろ

平成27年12月号
発行 延岡しろやま支援学校
こども支援部

◆◆◆ 心理・発達検査の活用について ～確かな学びを未来につなぐ～ ◆◆◆

特別支援教育においては、子ども達一人ひとりの特性や教育的ニーズを把握することが大切です。私たちは皆、得意なこともあれば苦手なところもあります。得意なことは日常生活で精一杯発揮し、苦手なことは人に手伝ってもらったり、自分にできる方法を工夫したりすることが大切です。そうした得意・不得意を知る手がかりとして心理検査や発達検査が活用されています。今回は、校内にある検査の中で、社会能力に関する検査を紹介します。幼児期から学齢期の子ども達の社会生活能力をチェックする検査として代表的なものに『S-M 社会生活能力検査』と『旭出式社会適応スキル検査』があります。いずれも普段接している保護者や先生方が、どの程度の生活スキルが身についているかチェックする検査で、特別なトレーニングを必要とするものではありません。生活単元学習や自立活動、日常生活の指導等で伸ばしたい力は何か…進路学習を進めていく中で社会参加や自立のために身につけていかななくてはならないスキルとは何か…子どもを支援していくチームで共通理解を図っていくのに役立てられると思います。地域教育支援センターにはその他の検査器具や検査用紙も用意しています。子どもの特性理解を深めたいというニーズがありましたら、学級担任を通して、地域教育支援センターのスタッフまでご相談ください。



S-M 社会生活能力検査
幼児期から中学生段階までの生活スキルをチェックする検査です。
【検査で見る領域】
『身辺自立』『移動』
『作業』『意志交換』
『集団参加』『自己統制』



旭出式社会適応スキル検査
高校生まで実施できる検査です。(高等部生徒向き)
【検査で見る領域】
『言語スキル』
『日常生活スキル』
『社会生活スキル』
『対人関係スキル』

巡回療育相談について

「巡回療育相談」とは、毎月1回、地域教育支援センター内のプレイルーム及び多目的室で行われている、宮崎県の障がい児等療育支援事業です。毎学期1回、本校の幼児児童生徒を対象とした「在校生巡回療育相談」も行われています。

日頃、子どもの体の動きや運動に関して、悩んでいることや困っていることを、療育センターの整形外科医師、訓練士、看護師等に相談することで、医学的な立場からの指導及び助言をいただくことができます。

申し込み方法については、毎学期「在校生巡回療育相談のお知らせ」という文書が配布されますので、必要事項を記入し、学級担任に提出してください。子どもの体の動きや運動に関して悩んでいることや困っていることがありましたら、ぜひ、巡回療育相談をご活用ください。



12月の予定



- 1日(火) 手話学習会
- 2日(水) 巡回療育相談
- 8日(火) 手話学習会
- 14日(月) ことばの教室
- 15日(火) 手話学習会
スポーツを通じた心のバリアフリー推進事業
- 18日(金) PTA活動
視覚支援巡回相談
- 21日(月) ことばの教室
- 22日(火) 手話学習会

連絡・問合せ先
延岡しろやま支援学校
TEL 0982-29-3715
FAX 0982-29-3716
地域教育支援センター
【直通電話】Tel 0982-29-3714